



## 2023年5月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月14日

上場会社名 U U U M株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3990 URL <https://www.uuum.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 梅景 匡之  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 (氏名) 安藤 潔 (TEL) 03-5414-7258  
 定時株主総会開催予定日 2023年8月24日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2023年8月24日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年5月期の連結業績(2022年6月1日~2023年5月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期	23,087	△2.1	△195	—	△150	—	△1,053	—
2022年5月期	23,584	—	971	19.1	1,002	17.2	448	△18.4

(注) 包括利益 2023年5月期 △1,079百万円(—%) 2022年5月期 422百万円(△23.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年5月期	△53.09	—	△27.5	△1.4	△0.8
2022年5月期	22.65	22.19	10.8	9.8	4.1

(参考) 持分法投資損益 2023年5月期 △14百万円 2022年5月期 —百万円

(注) 2023年5月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり当期純損失のため、記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年5月期	10,438	3,325	31.6	166.29
2022年5月期	10,704	4,412	40.8	220.54

(参考) 自己資本 2023年5月期 3,302百万円 2022年5月期 4,371百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年5月期	△643	△116	1,283	4,231
2022年5月期	1,347	△535	△107	3,727

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年5月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

### 3. 2024年5月期の連結業績予想(2023年6月1日~2024年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	24,000	4.0	400	—	415	—	150	—	7.55
	~	~	~	—	~	—	~	—	~
	24,700	7.0	700	—	715	—	420	—	21.15

(注) 詳細は、3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年5月期	19,978,140株	2022年5月期	19,893,180株
② 期末自己株式数	2023年5月期	121,200株	2022年5月期	121,200株
③ 期中平均株式数	2023年5月期	19,838,118株	2022年5月期	19,793,205株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本決算に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

決算補足説明資料は2023年7月14日（金）に当社ホームページ（<https://www.uuum.co.jp/ir>）に掲載しています。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(会計方針の変更) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が継続する中、経済活動の制限が大幅に緩和され回復の傾向が見られました。しかしながら、世界的な物価上昇や金融引き締めを背景とした景気後退リスクは高まっており、依然として景気の先行きは不透明な状況にあります。

このような状況の中でも、当社グループは、オンラインを中心とした事業特性を生かしてクリエイターサポート業務等を継続して展開しております。

国内の端末別インターネット利用状況を見ると、スマートフォンを保有している世帯の割合は2022年8月で90.1%と初めて9割を超え(総務省2022年「通信利用動向調査」)、スマートフォンの普及や通信インフラの発達に伴い、これまで以上に動画の視聴機会が増えております。

このような事業環境のもと、クリエイターとの共創事業であるプロモーションビジネスの拡大やグッズ・EC事業の拡大に注力し、事業基盤の強化に努めてまいりました。

当連結会計年度における当社グループの経営成績は次のとおりであります。

売上高は23,087,389千円(前連結会計年度比2.1%減)となりました。動画コンテンツにおいて長尺の再生数比率が下降傾向、一方で収益化が黎明期であるショート動画の再生回数は大きく伸長しているものの、アドセンス収益としては現時点で不安定であること等を受けて、アドセンス売上が減少。また、広告出稿抑制及びマーケティングにおける案件の多様化を原因として、マーケティング事業が苦戦したことにより、減収となりました。

利益面では、P2Cブランドの棚卸評価損を売上原価に計上したことや、租税公課の追加計上を行ったこと等を受けて、営業損失は195,857千円(前連結会計年度は営業利益971,395千円)、経常損失は150,454千円(前連結会計年度は経常利益1,002,707千円)となりました。また、当社が保有する投資有価証券について投資有価証券評価損を特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失は1,053,265千円(前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純利益448,329千円)となりました。

なお、当社グループは動画コンテンツ事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしていません。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における資産は、10,438,815千円となり、前連結会計年度末に比べ265,580千円減少いたしました。

流動資産は8,283,847千円となり、前連結会計年度末に比べ547,331千円増加いたしました。この主な内訳は、現金及び預金が504,228千円、売掛金が177,824千円増加し、仕掛品が155,826千円、未収消費税等が147,369千円減少したことによるものであります。

固定資産は2,154,968千円となり、前連結会計年度末に比べ812,912千円減少いたしました。この主な内訳は、投資その他の資産が567,038千円、無形固定資産が192,806千円減少したことによるものであります。

#### (負債)

当連結会計年度末における負債は、7,113,207千円となり、前連結会計年度末に比べ820,814千円増加いたしました。この主な内訳は、短期借入金が1,500,000千円増加し、契約負債が316,991千円、未払法人税等が202,999千円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産は、3,325,607千円となり、前連結会計年度末に比べ1,086,395千円減少いたしました。この主な内訳は、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ10,094千円増加し、親会社株主に帰属する当期純損失1,053,265千円を計上したことによるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ504,228千円増加し、4,231,874千円となりました。当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況とその要因は以下の通りであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動により支出した資金は、643,259千円となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失707,261千円の計上、契約負債の増加304,625千円があった一方で、投資有価証券評価損益519,719千円等の調整による増加があったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動により支出した資金は、116,599千円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出152,233千円、投資有価証券の取得による支出43,283千円、関係会社株式の取得による支出44,100千円があった一方で、投資有価証券の償還による収入134,186千円等があったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動により獲得した資金は、1,283,827千円となりました。これは主に、短期借入金の純増減額が1,500,000千円があった一方で、長期借入金の返済による支出376,701千円等があったことによるものであります。

### (4) 今後の見通し

今後の見通しに関しましては、国内外含めた当社グループの業績を取り巻く環境は、インフレーションの長期化や金融引き締めの影響により先行き不透明な状況になっております。一方で、新型コロナウイルスを契機に消費者のインターネット上での活動機会は増加し、様々なジャンルの著名人がインターネット上で発信する機会も増加しておりますが、今後もこの傾向は続くと考えております。

このような経済環境の中、今後の当社グループにつきましては、時代の変化を好機ととらえ、多様な個人やクリエイターのニーズに応えられるような体制づくり、クリエイターとの共創事業の立ち上げに注力してまいります。

2024年5月期の見通しにつきましては、連結売上高は、国内外での広告事業の拡大を織り込み、24,000百万円～24,700百万円と予想しております。連結営業利益は、売上成長に沿った売上総利益の増加を見込む一方、販管費の抑制を行うことで400百万円～700百万円とし、親会社株主に帰属する当期純利益は150百万円～420百万円と予想しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当連結会計年度 (2023年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,727,645	4,231,874
売掛金	2,227,425	2,405,249
商品	413,006	469,465
仕掛品	166,397	10,571
貯蔵品	456	2,458
未収消費税等	993,541	846,172
その他	208,041	318,055
流動資産合計	7,736,515	8,283,847
固定資産		
有形固定資産		
建物	493,776	496,436
減価償却累計額	△272,375	△312,159
建物（純額）	221,400	184,277
工具、器具及び備品	198,375	188,986
減価償却累計額	△141,856	△148,411
工具、器具及び備品（純額）	56,518	40,574
土地	11,692	11,692
有形固定資産合計	289,611	236,544
無形固定資産		
ソフトウェア	173,586	113,560
ソフトウェア仮勘定	123,137	140,791
のれん	113,949	33,514
契約関連無形資産	560,000	490,000
無形固定資産合計	970,673	777,866
投資その他の資産		
投資有価証券	937,036	396,969
繰延税金資産	402,479	391,497
敷金及び保証金	360,673	349,961
その他	7,406	2,129
投資その他の資産合計	1,707,595	1,140,557
固定資産合計	2,967,880	2,154,968
資産合計	10,704,396	10,438,815

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当連結会計年度 (2023年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,847,455	1,799,479
短期借入金	2,000,000	3,500,000
1年内返済予定の長期借入金	363,120	297,000
未払金	255,502	231,890
未払費用	323,439	520,225
未払法人税等	325,402	122,403
契約負債	479,383	162,392
賞与引当金	189,618	142,792
役員賞与引当金	13,200	—
その他	66,692	64,722
流動負債合計	5,863,814	6,840,905
固定負債		
長期借入金	416,628	256,047
繰延税金負債	—	2,033
その他	11,950	14,222
固定負債合計	428,578	272,302
負債合計	6,292,393	7,113,207
純資産の部		
株主資本		
資本金	824,031	834,125
新株式申込証拠金	11,010	—
資本剰余金	814,693	824,787
利益剰余金	2,805,154	1,751,888
自己株式	△99,978	△99,978
株主資本合計	4,354,910	3,310,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,647	△8,795
その他の包括利益累計額合計	16,647	△8,795
新株予約権	14,362	23,579
非支配株主持分	26,082	—
純資産合計	4,412,002	3,325,607
負債純資産合計	10,704,396	10,438,815

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
売上高	23,584,921	23,087,389
売上原価	16,460,103	16,540,611
売上総利益	7,124,817	6,546,777
販売費及び一般管理費	6,153,422	6,742,634
営業利益又は営業損失(△)	971,395	△195,857
営業外収益		
受取利息	34	77
為替差益	19,180	15,904
助成金収入	13,920	719
関係会社業務受託収入	—	8,960
匿名組合投資利益	—	45,837
その他	20,577	11,819
営業外収益合計	53,713	83,318
営業外費用		
支払利息	7,875	11,179
支払手数料	2,672	2,955
売上割引	2,366	2,094
損害賠償金	8,510	6,764
持分法による投資損失	—	14,776
その他	975	146
営業外費用合計	22,401	37,916
経常利益又は経常損失(△)	1,002,707	△150,454
特別損失		
減損損失	265,130	37,086
投資有価証券評価損	—	519,719
特別損失合計	265,130	556,806
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	737,576	△707,261
法人税、住民税及び事業税	453,390	322,527
法人税等調整額	△129,300	24,244
法人税等合計	324,090	346,772
当期純利益又は当期純損失(△)	413,486	△1,054,034
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△34,842	△768
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	448,329	△1,053,265



## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	413,486	△1,054,034
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,391	△25,443
その他の包括利益合計	9,391	△25,443
包括利益	422,877	△1,079,477
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	457,720	△1,078,708
非支配株主に係る包括利益	△34,842	△768

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)

(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	新株式申込証拠金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	805,048	—	774,048	2,356,825	—	3,935,923
当期変動額						
新株の発行	18,982	11,010	18,982			48,975
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)				448,329		448,329
連結子会社の増資による持分の増減			21,661			21,661
自己株式の取得					△99,978	△99,978
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	18,982	11,010	40,644	448,329	△99,978	418,987
当期末残高	824,031	11,010	814,693	2,805,154	△99,978	4,354,910

	その他の包括利益 累計額	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金			
当期首残高	7,256	14,362	3,387	3,960,928
当期変動額				
新株の発行				48,975
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)				448,329
連結子会社の増資による持分の増減				21,661
自己株式の取得				△99,978
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	9,391	—	22,695	32,086
当期変動額合計	9,391	—	22,695	451,074
当期末残高	16,647	14,362	26,082	4,412,002

当連結会計年度(自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	新株式申込証拠金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	824,031	11,010	814,693	2,805,154	△99,978	4,354,910
当期変動額						
新株の発行	10,094	△11,010	10,094			9,178
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△1,053,265		△1,053,265
連結子会社の増資による持分の増減						—
自己株式の取得						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	10,094	△11,010	10,094	△1,053,265	—	△1,044,087
当期末残高	834,125	—	824,787	1,751,888	△99,978	3,310,823

	その他の包括利益 累計額	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評 価差額金			
当期首残高	16,647	14,362	26,082	4,412,002
当期変動額				
新株の発行				9,178
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△1,053,265
連結子会社の増資による持分の増減				—
自己株式の取得				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△25,443	9,217	△26,082	△42,308
当期変動額合計	△25,443	9,217	△26,082	△1,086,395
当期末残高	△8,795	23,579	—	3,325,607

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	737,576	△707,261
減価償却費	297,169	196,438
減損損失	265,130	37,086
のれん償却額	80,435	80,435
賞与引当金の増減額(△は減少)	49,138	△44,797
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△16,131	△13,200
受取利息	△34	△77
支払利息	7,875	11,179
売上債権の増減額(△は増加)	154,929	△187,110
商品の増減額(△は増加)	△287,237	△56,458
仕掛品の増減額(△は増加)	△150,285	155,826
貯蔵品の増減額(△は増加)	893	△2,001
仕入債務の増減額(△は減少)	203,289	△40,805
前払費用の増減額(△は増加)	△49,069	3,940
未収消費税等の増減額(△は増加)	113,910	139,039
未払金の増減額(△は減少)	34,450	42,221
未払費用の増減額(△は減少)	△95,872	198,349
契約負債の増減額(△は減少)	328,267	△304,625
預り金の増減額(△は減少)	△3,722	△2,034
投資有価証券評価損益(△は益)	—	519,719
持分法による投資損益(△は益)	—	14,776
匿名組合投資損益(△は益)	—	△45,837
損害賠償金	8,510	6,764
その他	35,807	△87,643
小計	1,715,031	△86,076
利息の受取額	34	77
利息の支払額	△7,909	△11,453
法人税等の支払額	△350,723	△539,042
損害賠償金の支払額	△8,510	△6,764
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,347,923	△643,259
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△130,875	△7,077
有形固定資産の売却による収入	5,950	3,037
無形固定資産の取得による支出	△209,145	△152,233
投資有価証券の取得による支出	△350,932	△43,283
投資有価証券の償還による収入	—	134,186
関係会社株式の取得による支出	—	△44,100
敷金及び保証金の差入による支出	△2,200	△7,278
敷金及び保証金の回収による収入	151,598	300
その他	542	△150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△535,062	△116,599

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	500,000	1,500,000
長期借入れによる収入	—	150,000
長期借入金の返済による支出	△635,496	△376,701
株式の発行による収入	37,965	9,178
新株式申込証拠金の払込みによる収入	11,010	—
新株予約権の発行による収入	—	1,350
自己株式の取得による支出	△99,978	—
非支配株主からの払込みによる収入	79,200	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△107,299	1,283,827
現金及び現金同等物に係る換算差額	247	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	705,808	523,968
現金及び現金同等物の期首残高	3,021,836	3,727,645
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	△19,740
現金及び現金同等物の期末残高	3,727,645	4,231,874

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前連結会計年度(自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)

当社グループは動画コンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

当社グループは動画コンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービス区分の売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	欧米	アジア	合計
10,780,336	12,440,619	363,966	23,584,921

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高
Google LLC	10,840,076

(注) 当社グループは動画コンテンツ事業の単一セグメントであるため、関連するセグメント名の記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービス区分の売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	欧米	アジア	合計
12,087,507	10,380,189	619,691	23,087,389

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高
Google LLC	8,788,645

(注) 当社グループは動画コンテンツ事業の単一セグメントであるため、関連するセグメント名の記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

当社グループは動画コンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)

当社グループは動画コンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

当社グループは動画コンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
1株当たり純資産額	220.54円	166.29円
1株当たり当期純利益又は1株当たり 当期純損失(△)	22.65円	△53.09円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	22.19円	－円

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり当期純損失のため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	448,329	△1,053,265
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	448,329	△1,053,265
期中平均株式数(株)	19,793,205	19,838,118
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	－	－
普通株式増加数(株)	408,494	－
(うち新株予約権(株))	(408,494)	(－)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	－	－

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。